

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 令和6年1月12日（金）午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 18階共用会議室（みなと6・7）
- 3 出席者 鯉渕教育長 中上委員 森委員 四王天委員 大塚委員 泉委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教育委員会定例会議事日程

令和6年1月12日（金）午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告・その他報告事項

令和6年二十歳の市民を祝うつどいについて（結果報告）

3 審議案件

教委第43号議案 令和5年度横浜市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について

教委第44号議案 教育委員会事務局職員の人事について

教委第45号議案 教職員の人事について

教委第46号議案 教職員の人事について

4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

鯉渕教育長

ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、12月21日付で泉委員が就任されましたので、御紹介いたします。泉委員お願いいたします。

泉委員

御紹介いただきました泉と申します。よろしくお願いいたします。

横浜国立大学でダイバーシティ担当の副学長をしております。私の専門は、特別支援教育、インクルーシブ教育をしております。今、予測困難な時代を生き抜くために子どもたちが身につけるべき資質・能力というものが大きく変化し、また、これからも変化し続けるものと思います。その中でも、多様な他者、多様な価値観、多様な幸せの在り方を互いに認め合うことができるような、そんな人材を育成していくことが一貫して望まれていくのではないかと考えております。その点におきましても、皆様とともに考えていけたら大変幸いに存じます。教育委員という大きなお役目を頂き大変緊張しておりますが、誠心誠意取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

鯉渕教育長

よろしくお願いいたします。

それでは、議事日程に従い、会議録の承認を行います。12月1日の会議録の署名者は森委員と大塚委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉渕教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、12月15日の教育委員会臨時会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

木村教育次長

【一般報告】

1 市会関係

○12/20 本会議（第4日）議案議決

教育次長の木村です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、12月20日に本会議第4日目が開催され、議案議決が行われました。この中で、教育委員会の委員に関する人事議案が提案され、泉真由子委員が議会の同意を得て、任命をされました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○12/18 第4回中学校給食メニューコンクール表彰式

○12/22 よこはま子どもピースメッセンジャーによる横浜市長表敬訪問

○12/25 「スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」において

文部科学大臣表彰を受賞された横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校の生徒による教育長表敬訪問

○1/8 令和6年二十歳の市民を祝うつどい

(2) 報告事項

○令和6年二十歳の市民を祝うつどいについて（結果報告）

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、12月18日に、「第4回中学校給食メニューコンクール表彰式」が市庁舎31階のレセプションルームで開催され、鯉淵教育長が出席しました。

また、12月22日に「よこはま子どもピースメッセンジャーによる横浜市長表敬訪問」が行われ、鯉淵教育長が同席しました。

次に、12月25日に「スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」において、文部科学大臣表彰を受賞された横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校3年の帰山凜咲さんが、鯉淵教育長を訪問しました。

さらに、1月8日に「令和6年二十歳の市民を祝うつどい」を横浜アリーナにて開催し、鯉淵教育長、中上委員、森委員、四王天委員が出席しました。

この件に関しまして、この後、所管課から報告いたします。

私からの報告は以上です。

鯉淵教育長

報告が終了いたしました。何か御意見・御質問等ございますか。

四王天委員

新年早々、またよろしくお願ひいたします。まず、今の最大の関心事であります、石川県の能登半島地震の被害がございます。先日、令和6年1月10日付で横浜市としての支援策の記者発表がございましたが、教育関係では、図書館での募金という1項目がありました。それ以外にも、私たちは2011年の東日本大震災の支援もいろいろとしていますし、忘れてはいけないこともいろいろございます。それも踏まえて、今後、教育委員会事務局としてもっとできることがあれば、その具体的なプランがございましたら、お聞かせいただけたらと思います。

片山総務課長

おはようございます。総務課長の片山です。今、四王天委員から頂いた件でございますが、横浜市全体としまして、横浜市の災害応援対策本部を立ち上げておりまして、その中で職員を派遣しております。その中で教育委員会事務局としましても職員の派遣の準備を進めておりまして、今後派遣という形になるかと思っております。

また、先ほど募金の話もありましたが、区役所や市庁舎で行っていくわけですが、その中でも中央図書館あるいは各地域図書館での募金の準備も進めております。先般、御説明しましたとおり、ただいま臨時休館をしておりますので、明けた1月15日以降からの開始を予定しているところです。

今後、本市への避難ということ、先ほど四王天委員からもありましたが、横浜市内の市立学校での受入れということも出てくるかと思っておりますので、そこについてももしっかり対応していきたいと思っておりますし、過去の教訓なども踏まえて通知などもこれからしっかり整理しながら、各学校と連携をしっかりと行っていきたいと考えております。以上です。

四王天委員

分かりました。大きな事件も起こしてしまった横浜市ですので、二度とあってはならないことを繰り返さないためにも、職員全員が意識を強く持って受入れを

していただけたらと思いますので、よろしくお願いたします。

片山総務課長

ありがとうございます。

鯉渕教育長

よろしいでしょうか。特になければ、次に「令和6年二十歳の市民を祝うつどいについて（結果報告）」、所管課から御報告いたします。

鈴木生涯学習
担当部長

生涯学習担当部長の鈴木です。令和6年1月8日に、二十歳の市民を祝うつどいを開催いたしました。前は5回開催ということでしたが、今回は3回の開催ということで実施させていただきました。開催結果の概要について、生涯学習文化財課長から報告いたします。

小野寺生涯学
習文化財課長

生涯学習文化財課長の小野寺です。それでは、資料に沿って御説明差し上げます。「令和6年二十歳の市民を祝うつどいについて（結果報告）」でございますが、資料の冒頭でございますように、二十歳を迎えた市民を祝い励ますとともに、成人としての社会的責任を改めて自覚し、横浜への愛着を深めてもらうことを目的に実施しております。

「1 式典概要」「(1)日時・会場」でございます。「開催日」につきましては、先ほど生涯学習担当部長から申し上げましたとおり、令和6年1月8日の月曜日祝日に開催をしております。「会場」は横浜アリーナでございます。ライブ配信も同時に行いました。「時間」は3回に分けてということで、第1回は10時30分から11時10分、第2回は13時からの開始、第3回は15時30分からの開始といった形で開催いたしました。

「(2)対象者数・参加者数・参加率」でございます。「対象者」につきましては、平成15年4月2日から平成16年4月1日の出生者で、市内に住民登録をされている方です。「対象者数」は35,863人になります。「参加者数」でございますが、21,862人の方が参加されていて、「参加率」は61.0%となっております。こちらの参加率につきましては、近年と同様の傾向になっております。また、「ライブ配信」のアクセス数ですが、8,652アクセスがございました。各回の対象区別の参加人数と参加率につきましては、下の表を御参考までに御覧いただければと思います。

次に「(3)次第」でございますが、国家斉唱、市長あいさつ、市会議長・副議長祝辞、来賓紹介、二十歳の皆さまへのスペシャルメッセージ(上映)、二十歳の誓い、市歌斉唱などを行っております。二十歳の皆さまへのスペシャルメッセージを頂いた方につきましては、「※1スペシャルメッセージの出演者」にございますように、横浜DeNAベイスターズの牧秀悟氏と、ヨコハマ未来創造会議GREEN×CAPTAINの秋元真夏氏からメッセージを頂いております。また、開会前に庁内協賛映像等を放映しておりますけれども、こちらにつきましては、「※2庁内協賛映像等」にございますように、自治会町内会への加入の呼びかけや、若者の消費生活トラブル防止などの映像を流しております。そのほか、一番下に書いておりますように、今回の能登半島地震のお見舞い等に関するメッセージも放映いたしました。

続きまして、資料の裏面を御覧ください。裏面には、「2 式典の様子」の写真掲載しております。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、初の式典開催でしたが、混乱なく安全・安心な式典運営を行うことができました。なお、前回の式典では、新型コロナウイルス感染症対策ということで、式典の時間をなるべく短くするために開会前に上映させていただきましたゲストメッセージを、今回

は式典内での上映に変更して、皆さまに御覧いただいております。

最後に、「3 式典終了後のごみ拾い活動について」ということで、新横浜町内会主催「ハマロードサポーター活動」に参加していただき、ごみ拾いを行っております。こちらにつきましては、16時45分からの30分間、二十歳の市民の有志の方11名に参加いただきまして、横浜アリーナ周辺の清掃活動を行っております。説明は以上になります。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御意見・御質問等ございますか。

中上委員

中上です。どうぞよろしく申し上げます。能登半島地震、被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い授業の再開をお祈りしたいと思います。

今、御報告がありました令和6年二十歳の市民を祝うつどいについて、意見を申し述べたいと思います。今、報告がありましたように、新成人の方は35,863人ということで、おめでとうございます。今回の印象ですが、新型コロナウイルス感染症対策のときに、国歌や、ほかの都市にはない横浜市歌を、清聴と言いますか静かに聞いておりましたが、今回、皆さんと斉唱できて良かったと思っております。

また、横浜市長の御挨拶の中で今回の能登半島の地震に触れられて、「当たり前前の日常が一瞬で当たり前でなくなった」と、「寄り添う心が支援の輪をつくり、大きな力になる」という冒頭の発言がありました。被災地に何ができるか一緒に考えましょうという呼びかけもございました。

また、実行委員の方が二十歳の誓いをメッセージされましたけれども、その中の言葉で非常に印象的だったのは、「今は病床にいる祖父が元気な頃は、365日毎朝4時に起きて地元でごみ拾いをしていた姿に尊敬の念を抱き、私も率先して人のために行動できる大人になれるよう、更に努力していかなければならない」という非常に力強いメッセージで、感動したところでございます。

皆さん御存じのとおり、平成7年の阪神・淡路大震災は、1月17日でした。あのときに感動したのは、過去に例のないと言いますか、多くのボランティアが参加されまして、当時、全国から137万人のボランティアが被災地に応援に行きました。その中で、特に若者のボランティアの特徴と言いますか、日本のすごい力だなと感動した覚えがあります。いずれにしても、そこから「ボランティア元年」と呼ばれたわけです。今は現地の道路事情ですとか受入準備でまだ無理ですが、ボランティアの登録は始まっているようです。神戸市の阪神・淡路大震災の例を見ても、その後、がれきの撤去や散乱した室内の清掃、救援物資の仕分けなど、いろいろな人手が、今でも足りないのですが、なかなか入れないという状況だそうです。

いずれにしても、特に教育関係としては、学校の再開。私も阪神・淡路大震災のときに、御迷惑がかからないように1か月ぐらい経ってから災害対策室の人たちと行きまして、学校の現場を見せてもらったときに、学校の教室の中に被災者の方がおられる。校庭にはテントを張っておられる。学校が再開できないということが非常に問題で、4月に入って少しずつ学校再開できてきたのです。仮設校舎を少し造って、受皿をつくってからできたのですが、そのときの学校の苦労というのが非常に印象に残りましたので、横浜市でも授業の再開に対して何か支援できることがないのかなと、先ほどの四王天委員のお話を聞いて思いました。

一つだけ意見です。先ほどのお話の中で、入替えの合間に映像などいろいろな情報を流しておられるのですが、その中に能登半島地震のボランティアの御案内

もあつたようです。災害のボランティアだけではなくて、横浜市の教育が目指している社会貢献や地域貢献の様々なボランティアがありますので、それに対するメッセージを、この短い時間で無理でしたら印刷物ですとか、そこで若い、これから日本を背負って立つ新成人に、いろいろな形のボランティアを御提案、お誘いできれば良いのかなと思います。これは意見です。以上です。

鯉淵教育長

ほかにございますでしょうか。

四王天委員

二十歳の市民を祝うつどいということで、昔の成人式という意味合いと、少しカラーが変わってきているのかなという気がします。二十歳なので、成人して2年後の決意という形になると、昔のように二十歳で今日から大人であるということの切替え点での決意と、またちょっと違ってきているのではないかという気がします。ですから、成人ということの意義を求めるよりも、成人して2年経って「私はこのように変わりました」や、「このようなことを心がけて生きています」というような、そのような決意表明と言いますか、「成人になってから私はこのようにまた成長しました」とか「学びました」など、そういうような意味合いのお話が少しあっても良いのではないかと少し思いました。今までの成人式というのと少し捉え方を変えて考える必要もあるのかなというの思います。

それと、一番会場が湧いたのが、牧秀悟さんと秋元真夏さんのスペシャルメッセージの部分でした。やはり親しみやすい、身近な人からお話を頂けるというのは非常にありがたいことだなと思いました。ただ、一人ひとりが結構長くお話しされていたので、もう少し時間を短くしてでも多くのゲストからお祝いの言葉を頂けた方がより良く印象に残るのではないかと思いました。その辺りの、式典の意義、盛り上げる人や応援する人の数などをまた来年以降、少し工夫していただけたらと思います。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症になって大分リラックスした雰囲気での会場になってきたような気もして、とても和やかな雰囲気であつたことはとても良かったなと思います。感想ですが、以上です。

鯉淵教育長

何かありますか。御意見として聞くということでも良いと思いますが。

小野寺生涯学習文化財課長

御意見ありがとうございます。また次回の開催に向けて、開催の方法や企画の内容については検討してまいりたいと思っています。会場はリラックスした雰囲気でおっしゃっていただきまして、湧いた瞬間が、スペシャルメッセージのところですごく湧いた回もあれば、市歌斉唱のときに一番湧いた回もあつたような気が個人的にはしていて、回によって少し雰囲気は異なっていました。実行委員会に司会をしてもらっているのですが、いずれも司会の方が御挨拶すると拍手が自然に湧いたり、出席者の方も一緒に式典を盛り上げていこうと言いますか、そういう雰囲気があつた非常に良い式典だったのではないかと思います。主催者側ではありますがそう受け止めておりますので、また次回につきましても良い式典ができるように検討してまいりたいと思います。御意見ありがとうございます。

鯉淵教育長

ほかにかがでしょうか。

森委員

御報告ありがとうございます。今年もよろしくお願ひします。二十歳の市民を祝うつどい実行委員会があつて、二十歳を迎えた皆さんたちが構成していると思いますが、その皆さんは今年はどうな関わりをされたのでしょうか。

小野寺生涯学
習文化財課長

スペシャルメッセージの出演者の選定のときに意見をもらったり、当日の進行や、各回で、司会もそうなのですが、二十歳の誓いのメッセージの読み上げですね。自分たちの言葉でメッセージを言っていたくのを分担していただきました。あと、出席者の方に記念冊子を配布しているのですが、そちらの冊子の中身の企画や、開会前に上映した自分たちが生まれてからこれまでの道のりの動画作成、「足音」という今回のテーマも実行委員会の中で決めていただきました。そのテーマに基づいた自分たちのこれまでの振り返りなど、二十歳の方にメッセージを伝えるに当たっての様々な企画など、当日の実行に関わっていただきました。

森委員

ありがとうございます。様々な場面で関わっていらっしゃることが今分かりました。「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指している中で、実際にそういった二十歳を迎えた皆さんがどう関わるかというところの場面設定というのでしょうか、限定的に大人が全部用意してここだけの部分をとるよりは、どのように関わっていくかもぜひ次回に向けて考えていただければと思います。

あと、アンケートを取る場面というのがあったと思うのですが、その集計はまだでしょうか。実際の反応をお聞きしていたらお聞かせください。

小野寺生涯学
習文化財課長

アンケートにつきましては、令和6年1月31日まで受付をしております現在受付中ですが、1月9日時点では139件の御回答を頂いておりますので、引き続き受付をまとめてまいりたいと思います。

鯉淵教育長

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ほかに御意見等がなければ、次に議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第43号議案「令和5年度横浜市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について」は、個人情報を含む案件のため、教委第44号議案「教育委員会事務局職員の人事について」、教委第45号議案及び教委第46号議案「教職員の人事について」は、人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉淵教育長

それでは、教委第43号議案から教委第46号議案は、非公開といたします。審議に入る前に、事務局から報告をお願いします。

片山総務課長

次回の教育委員会臨時会は、1月26日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、2月21日水曜日の午前10時から開催する予定です。

鯉淵教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は、1月26日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、2月21日水曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴・報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

教委第 43 号議案「令和 5 年度横浜市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について」

(原案のとおり承認)

教委第 44 号議案「教育委員会事務局職員の人事について」

(原案のとおり承認)

教委第 45 号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

教委第 46 号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

鯉渕教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時25分]